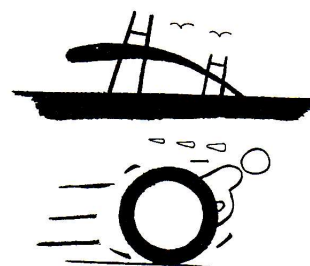


< 第 44 号 >

2020 年 1 月発行

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会 機関誌

BASEL



- 発行責任者: 横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者: 広報担当理事
- 連絡先 : 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内

Fax 045(475)2053

<http://basel-y.sakura.ne.jp>



会長挨拶

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
会長 岩澤 英喜

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

日頃より当協議会の事業推進に多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年はいよいよ「オリンピック・パラリンピック東京大会」が開催されます。いろいろな国の人々が集います。そして、スポーツを通して文化や宗教、障害など様々なハードルを乗り越えた相互理解が深まっていくと思われれます。そこにはきっと障がい者の社会参加を後押しする雰囲気も生まれることでしょう。その中で、障がい者スポーツをより発展させるために、皆様のご支援とご協力を賜ることとなると思いますので、よろしく願いいたします。

第19回全国障害者スポーツ大会

理事 田川 豪太



第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会2019」は、令和元年10月12日(土)から14日(月)までの3日間、茨城県内の様々な会場で実施される予定でした。横浜市選手団は、選手53名・役員33名の計86名。



いきいき茨城ゆめ大会2019 横浜市選手団結団式(令和元年9月)

ハマピックで優秀な成績を収め、横浜市選手団に選出された選手達は、各種目の強化練習を経て、全国大会でのメダル獲得を目指していましたが、超大型台風19号の接近に伴い、大会は中止となりました。私は陸上チームのバスに同乗し、10月10日(木)に横浜を出発しましたが、途中、大会中止の連絡が入ったため、急遽、常磐道を引き返して、横浜に戻りました。

結果的に台風19号は各地に大きな被害をもたらしており、大会中止はやむを得ないことだったと言えますが、ユニフォームを新調して、意気込んでいた選手達には大変残念な事態となってしまいました。また、数年間をかけて準備を進めてきた茨城県の方々には、それ以上に辛い状況であったろう、と思います。

横浜市及び障害者スポーツ文化センター横浜ラポールでは、茨城大会の横浜市選手団に選出されながら、大会に参加できなかった選手を主な対象に「もう一つの茨城大会(仮)」を実施する準備を進めています。全競技を行うわけではありませんが、新ユニフォームで各々の練習成果を発揮する場としての簡易大会です。来る2月11日(火)にラポールで開催する予定ですので、ご都合の合う方は是非ご来館いただき、選手に声援をお願いします。

研修コーナー

研修会報告

開催日時2019年10月26日(土)10時～13時

研修担当 後藤 貴久

今年度2回目の研修は、報告「全国障害者スポーツ大会」、講義「ハマピックの障害区分」、実技「スポーツ・リズム・トレーニング」の3本立てで行いました。

一つ目の「全国障害者スポーツ大会報告」は、残念ながら今年度の大会は中止になってしまったので、これまでの大会を通じて感じた想いや選手との触れ合いについて、BASEL 会員の初海治氏、平山和幸氏の2名にお話しいただきました。初海氏はボウリング、平山氏は陸上競技で帯同しており、それぞれの想いが存分に伝わる報告でした。

二つ目の講義「ハマピックの障害区分」は、横浜ラポールの熊谷俊介指導員に講師をしていただき、全国障害者スポーツ大会とハマピックの障害区分の違いや、障害区分判定の実技を行いました。毎年2月にハマピックの受付業務を BASEL 会員の皆様で行っています。今回の研修を通して、ご協力いただける方が増えたことは大変嬉しく思っています。最初は難しいと思う人がいらっしゃいますが、今後も定期的に研修を実施したいと考えています。

三つ目の実技「スポーツ・リズム・トレーニング」は、横浜市体育協会の木野村健人氏を講師にお招きし実施しました。スポーツ・リズム・トレーニングは、一定のリズムに合わせて決められた動きを行います。子どもからアスリートまで幅広く対応していて運動強度も自由に変えられるので、興味をもった参加者がとても多かったと感じました。

参加者からのアンケートは非常に好評でした。今後も皆様に満足できる研修を計画していきますので、多くの方の参加をお待ちしております。



全国障害者スポーツ大会報告



ハマピックの障害区分について



スポーツ・リズム・トレーニング実技研修

日本臨床整形外科学会の推薦プログラムにも認定され、運動障害を予防するプログラムとしても期待されています

会員の活動・体験コーナー

【7月7日(日)スポーツフェスタ「水泳の日」於;横浜ラポール】

会員 藤郷 栄康

障がいのある人とその家族・介助者を対象とした初心者でも参加しやすい記録会として設定されており、梅雨空の中を年少者から高齢者まで 200 名を超える競技参加者が集いました。全ての種目が水中スタート、観覧席だけでなく泳者のすぐ傍からも温かい声援が送り続けられるなど、厳格なルール運用で緊張感さえ感じたハマピック水泳競技とは対照的な、笑顔溢れる和やかな雰囲気が漂ったスポーツフェスタの名称にふさわしい一日でした。ハイライトはハマピックにはないリレー種目、皆で支え励まし合う一体感と歓声が会場全体に広がりました。私は第2招集所を担当し、スタート直前の水着の選手たちの澆刺とした表情や橘高校水泳部の若者たちの真摯な支援行動に接して、清々しい瞬間を数多く体感しました。運営スタッフの尽力で緻密なプログラムが円滑に進行し、個人種目54レース、リレー種目6レースを無事に完了しました。当日は1階ロビーで「障がいのある子とご家族の幸せオーラ写真展」が開催され約90家族の笑顔に満ちた写真と感動的なメッセージも展示されていたことから、多くの参加者がラポールから沢山の元気と勇気を持ち帰ってくれたことと思います。



【7月26日(金)・27日(土)ヨコハマヒューマン&テクノランド(ヨッテク) 於;パシフィコ横浜】

広報



福祉のことが分かる総合イベント(通称ヨッテク)がパシフィコ横浜展示ホール D で開催されました。最新の介護、福祉用具が展示され、すぐに役立つプロの技と情報が提供されました。バセルはパラスポーツチャレンジ、車椅子乗車体験、体力測定、子供の遊び場などのコーナーを担当しました。

【8月4日(日)スポーツフェスタ「バスケットボールの日」於;横浜ラポール】

広報

横浜市内の特別支援学校、養護学校から 3 校、川崎市内養護学校から 1 校、それに社会人 4 チーム、総勢 128 人の参加があり、各チーム 2 試合の交流戦が行われました。

【9月1日(日)「ラポールの祭典」於;横浜ラポール】

会員 深谷 友加

昨年3月に誕生したユニバーサル野球、軽くて丈夫なダンボール素材で出来ています。まず土台を組み立て、その上に20のパーツに分かれた盤を乗せ、バックスクリーンと各塁のランプの配線をし、囲いのボードとバッターボックスを設置して完成。

30分で3回裏までのゲームを3回行うことが出来ました。

応援歌が流れ、プロのウグイス嬢によるアナウンス、名司会の実況中継と、まるで本物のスタジアムにいるような臨場感でした。球団のユニフォームを着てメガホンを手に応援するとチームに一体感が出来ました。回転盤のボールを真剣に見つめるタイミングを計ってバットの紐を引くと見事ホームラン！惜しくもアウトポケットに・・・皆の笑顔とガッツポーズ、ハイタッチ、ゲーム後の楽しかったとの声が印象的でした。次は11月に北海道で実施されるそうです。全国で普及されることを楽しみにしています。



会員 佐々木 千鶴



今年のラポールの祭典では、ボッチャのボランティアをやりました。いつもより人出が多く、190名もの方々に楽しんでもらいました。

ボッチャは前回のパラリンピックで、メダルを取ってからあちこちで体験することが多くなりました。私もいろんなところにボランティアで行きました。大変ですが楽しくもあります。ラポールでもボッチャリーグがあり、いつも審判をしています。

【9月21日(土)ハマピック「バスケットボール競技」於;横浜ラポール】

会員 大滝 寛子

令和元年9月21日、ラポール横浜メインアリーナにて、第24回ハマピック「バスケットボール競技」が開催されました。男女含め全7チームが参加、強豪の社会人チームに対しても、精一杯自分たちの良いプレーを見せようと走る高校生の姿がとても印象に残りました。ボールがゴールに入るたびに会場からは歓声が起こり、選手はもちろん、監督・コーチ、応援者が一体となり、喜びを分かち合っていました。

私自身、この大会には、昨年に続き2回目の参加となりました。

ボランティアの内容は、受付、スコアシートの仕分け、お弁当の配布、片付け等。そのお手伝いの合間に、選手たちの勇姿を見るのが、何より楽しみで参加しています。

審判員や男子バスケット部の協力もあり、試合は円滑に進み、選手たちは試合に集中できたことと思います。たくさんの方々に支えられて毎年開催されるこの大会を、改めて「素晴らしいなあ～」と感じた一日となりました。今後もボランティア活動を通して、スポーツに汗する選手たちを応援していきたいです。



【10月20日(日)「横浜市身体障害者運動会」 於;横浜ラポール】

会員 貞 陽子

ラグビーW杯「日本×南アフリカ」で盛り上がりを見せている同日。ここ横浜ラポールのグラウンドでも「横浜市障害者運動会」が秋の柔らかな日射しのなか開催されました。午前11時20分パクン競争で開幕、老若男女混合で10m先にぶら下がっている袋菓子を取り、さらに10m走ってゴール。素早くゴールする人、苦戦する人、その光景に四方から笑い声がグラウンドに響きました。



賞品授与、今年は奇数着順、賞品を多数持ち帰る人、幾度となく出場するも賞品を持ち帰れない人も。一喜一憂。ゴール偶数担当でしたので「残念ですが賞品はありません」の一言が少々気の毒に感じました。次の競技で頑張ると声掛けしました。午前4種目、午後6種目が行われましたが、皆さん笑顔で楽しく参加されていたのが印象的でした。来年もたくさんの競技に参加され賞品をたくさん頂けます様に。来年も今年以上に多数の方々が参加し盛大な運動会になることを祈願致します。

【11月8日(金)・9日(土)「横浜マラソン EXPO2019」 於;パシフィコ横浜】

会員 松田 邦子

横浜マラソン 2019 のランナー受付に合わせて開催された横浜マラソン EXPO2019。横浜マラソンにエントリーしていない方も来場できるイベントです。受付を済ませたランナーやご家族、友人、一般の方など老若男女の方々が来場されました。

陸上競技用車いす(レーサー)の体験ブースを担当しました。レーサーの試乗体験をされた方々から「見たことはあるけど乗るのは初めて。こうやって走るのか。」「良い経験ができました。これまでと車椅子マラソンの見方が変わります。」などいろいろな声が聞かれました。来場者と会話するなかでレーサーに関心を持っている方は多いと感じました。



今後も多くの人にレーサーを体験していただき、車いすマラソンの魅力を感じていただければと思います。

【11月10日(日)スポーツフェスタ「フライングディスクの日」 於;横浜ラポール】

会員 鳥羽 美鹿



この度BASELに登録後、初めてお手伝いさせて頂いたのが、フライングディスクのイベントでした。こんなに軽いプラスチックの円盤が50メートルも飛んで行くことに、ビックリしました。私は、ディスタンスでディスクを拾ったりしていました。初心者なので勝手が分からず質問ばかりしていましたが、先輩方が優しく教えて下さり、緊張もほぐれていきました。

青空を舞うディスク、投げる選手たちの真剣な眼差しや笑顔、飛距離が伸びた時の会場の拍手と歓声。これまで障がい者スポーツに触れたことがありませんでしたが、競技者もボランティアも楽しい時間を共有できる場所だと知りました。

今後も、いろいろな機会に参加していきたいと思っています。よろしくお祈りします。

【11月16日(土)ハマピック「バレーボール競技」 於;横浜ラポール】

広報

5 チームが参加し、優勝チームは令和2年度の関東ブロック予選会(埼玉県)の参加資格が得られるということで、熱戦がくりひろげられ無事終了いたしました。



【12月1日(日)スポーツフェスタ「卓球の日」 於;横浜ラポール】

会員 栗原 茂



私は昨年の12月に実施された「初級障がい者スポーツ指導員養成講座」を受講しました。ラポールの利用の中で本講座を知り、社会との関わり方を求めて受講する事にしました。講座の勉強の中で深まるのは、自分に出来るのか?と云う不安でした。不安を和らげてくれたのが、受講仲間の存在でした。今年4月より第24回ハマピックの卓球、水泳、バレーボール競技、ラポールの祭典、運動会を体験し、そして今回のスポーツフェスタ「卓球の日」でのサウンドテーブルテニス(STT)競技の体験でした。他の競技と全く違い「息を飲む静けさと緊張の世界」です、私は選手の方の誘導とスコアラーとボールパーソンの担当です。ある選手の方は誘導のぎこちなさから新人である事を見抜きました、少しだけ会話が出来良かったです。日常生活では味わえ無い体験が出来ました。選手の皆さんが集中力を高め、速いボールに対応しているのに驚かされ感動しました。皆さんお疲れ様でした。感動を有難う御座いました。

こんな活動をしました

【9月14日(土)「インクルーシブ陸上 2019 in YOKOHAMA」 於;三ツ沢公園陸上競技場】

会員 西村 うづき

前日からの悪天候で空模様が心配された中、インクルーシブ陸上が無事開催されました。今大会は、主催・横浜市体育協会、協力・BASELのもと、

【障害のある陸上競技者の記録会の機会の提供】

【インクルーシブな社会の実現＝年齢、性別、障害の有無によって隔てることなく、ともにスポーツを楽しむことで共生社会の実現を目指す】

ことを目的として開催された大会です。そのため、午前中は障がい者中心、午後は健常者ファミリー中心と様々な参加者がいた賑やかな大会となりました。

自分は午前中が受付、午後はレーン補助という変則的な役割をいただき、陸上のボランティアがはじめてということもあり少し緊張しましたが、スタート後は普段と同じように選手やご家族との会話や競技への応援で一日楽しく過ごすことができました。午前中は白熱したレース、午後は和やかな楽しいレースと、参加者のみならず大会ボランティアもそれぞれが皆充実した一日だったと思います。



お知らせコーナー

【ラポール上大岡開所しました】

2020年1月10日に障害者スポーツ文化センターラポール上大岡が開所および利用登録がスタートしました。当施設は、上大岡駅のゆめおおおかオフィスタワーの6階から8階にあり、①地域支援 ②健康増進 ③創作・表現活動支援 等を中心に各種サービスを展開して参ります。バセルの皆様には、プログラム実施や施設管理の両面におきましてご協力いただければ幸いに存じます。

開所式には当協議会から岩澤会長が出席しました。



【総会・研修会のご案内】

2020年5月16日(土)横浜ラポール2階ラポールボックスに於いて総会を開催します。

同日メインアリーナで研修会も行いますので、ご出席ください。

詳細は、後日改めてお知らせします。

【役員改選のお知らせ】

今年度で現役員の任期2年が経過します。本協議会役員選出規則により次期役員候補を公募します。

詳細は同封の要項をご覧ください。

【ボッチャ競技 講習会】

第1回全国障害者スポーツ大会「ボッチャ競技」講習会を開催します。

この講習会は2021年開催のハマピック「ボッチャ競技」にあたる役員養成を目的に実施するものです。

日時 2020年2月16日(日)14:00～16:00(予定)

スポーツフェスタ「ボッチャの日」終了後に行います。

場所 横浜ラポールメインアリーナ *申し込みは不要です(自由参加)

今後の予定については同封の要項をご覧ください。

【メールアドレス登録の件】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼情報などをメールで配信しています。

情報配信を希望される方は QR コードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、下記のアドレスよりお名前・会員番号を入力し返信してください。

※既に登録済の方は、登録の必要はございません。

touroku@basel-y.sakura.ne.jp



「2020年度 大会等のボランティア募集情報」「スポーツカレンダー」を同封しています。多くの方がたのご参加お待ちしております。

【会員数 2020年1月現在 512名】